

2018(平成30)年3月期 第1四半期決算補足資料

(2017年4月1日～2017年6月30日)

1. 2018.3期 第1四半期実績

(百万円)

	'18.3期1Q 実績	'17.3期1Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	7,508	8,275	-767	-9.3%
営業利益	874	379	+494	+130.1%
経常利益	1,256	410	+845	+205.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	923	287	+636	+221.7%
研究開発費	1,558	2,292	-733	-32.0%
研究開発費率	20.8%	27.7%	-6.9pt	-
営業利益率	11.6%	4.6%	+7.0pt	-
1株当たり四半期純利益(円)	16.32	5.06	+11.26	-
期中平均レート(US\$/円)	111.10	108.25	+2.85	-

<実績と前年同期実績との増減要因>

売上高: 国内アルツの前年同期における出荷集中の反動や、一部の海外販売提携先での在庫調整の影響を受け(-767) 減収。なお、売上高全体への円安影響は約+40百万円。

- ・国内アルツは、市場全体がほぼ横ばいで推移。医療機関納入本数は前年同期に新容器投入に伴う販売増があった反動を受け微減(前年同期比:市場-0.1%、アルツ医療機関納入本数-0.7%)。当社売上も減少。
- ・オペガン類は、シェルガンの積極的な販促活動により市場浸透が順調に進み、医療機関納入本数及び市場シェアが拡大(前年同期比:市場+1.1%、オペガン類医療機関納入本数+27.8%)。当社売上も増加。
- ・米国ジェル・ワンの現地販売数量が増加(前年同期比+約2割)。当社売上は前年同期に製品のラベル変更に伴う出荷が集中した影響で微増に留まる。
- ・米国向けスバルツFXの現地販売は微減。当社売上は販売提携先への出荷タイミング要因により増加。

営業利益: 研究開発費の一部が第2四半期以降にずれ込んだことなどにより販管費が減少し増益。

(+494) なお、減価償却費は731百万円(前年同期比+5百万円)。

四半期純利益: 為替差益や投資有価証券売却益の計上により増益。

(+636)

2. 2018.3期 第1四半期事業セグメント別売上高

(百万円)

	'18.3期1Q 実績	'17.3期1Q 実績	前年同期比		(参考)	
			増減	増減率	'18.3期予想	'17.3期実績
【医薬品事業】	6,062	6,770	-707	-10.5%	24,550	24,152
国内医薬品	4,117	4,659	-542	-11.6%	16,350	16,268
海外医薬品	1,725	1,834	-108	-5.9%	7,200	6,771
医薬品原体	219	275	-56	-20.6%	1,000	1,111
【LAL事業】	1,445	1,505	-59	-4.0%	5,750	5,437
合計	7,508	8,275	-767	-9.3%	30,300	29,589
(海外売上高)	2,911	2,989	-78	-2.6%	11,900	11,029

3. 通期業績予想と進捗率 (2017年5月12日に公表しました予想に変更はありません)

(百万円)

	'18.3期 予想	'17.3期 実績	前期比		'18.3期1Q 実績	進捗率
			増減	増減率		
売上高	30,300	29,589	+710	+2.4%	7,508	24.8%
営業利益	1,500	1,282	+217	+17.0%	874	58.3%
経常利益	3,750	2,477	+1,272	+51.4%	1,256	33.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,700	1,787	+912	+51.0%	923	34.2%
研究開発費	8,350	7,834	+515	+6.6%	1,558	18.7%
研究開発費率	27.6%	26.5%	+1.1pt	-	20.8%	-
営業利益率	5.0%	4.3%	+0.7pt	-	11.6%	-
1株当たり当期純利益(円)	47.65	31.55	+16.10	-	16.32	-
期中平均レート(US\$/円)	108.00	108.42	-0.42	-	111.10	-

以上